

- ① → リーディング優先で、発音が必要で、資格試験を目指して
いて、重要性が高い

私がオススメする大まかなプラン

屋内ではテキストを用いて集中して学習し、屋外では携帯用ブ
レーヤーでながら学習する2本立て

屋内での意識を集中した学習

- ①ヵ月目 中学文法
- ②ヵ月目 基本 3000 語
- ③ヵ月目 プラス 3000 語
- ④ヵ月目 直読直解
- ⑤ヵ月目 高校文法
- ⑥ヵ月目 構文
- ⑦ヵ月目 発音
- ⑧ヵ月目 復習
- ⑨ヵ月目 語彙の上乗せ、多読
- ⑩ヵ月目 復習
- ⑪ヵ月目 語彙の上乗せ、多読
- ⑫ヵ月目 復習

8ヵ月目に、これまでの復習をし、今後の計画を見直します。今後も
リーディングを優先する場合は、語彙を上乗せして覚えていきましょ
う。英字新聞を読みたい人は時事単語集を覚え、ペーパーバックを読

みたい人は中上級用の一般単語集を覚えましょう。多読を取り入れるのも有効です。ペーパーバックや雑誌など、読みたいものにチャレンジしてもいいし、資格試験の長文を読んでもいいです。『リーディング』(p.147)も参照してください。そして復習は定期的に繰り返してください。

屋外でのながら学習

- ①ヵ月目 発音テキストの発音記号に関するページ（『英語徹底口練！』（実務教育出版）の72～99ページ）を軽く読んでおくとともに、音源を常に聞き流す
- ②ヵ月目 1ヵ月目と同じか資格試験の音源
- ③ヵ月目 1ヵ月目と同じ
- ④ヵ月目 1ヵ月目と同じか資格試験の音源
- ⑤ヵ月目 1ヵ月目と同じ
- ⑥ヵ月目 1ヵ月目と同じか資格試験の音源
- ⑦ヵ月目 1ヵ月目と同じ
- ⑧ヵ月目 1ヵ月目と同じか資格試験の音源
- ⑨ヵ月目 1ヵ月目と同じか資格試験の音源、あるいは屋内での集中学習に新しい単語集を取り入れた場合は、その単語集の音源
- ⑩ヵ月目 1ヵ月目と同じ
- ⑪ヵ月目 1ヵ月目と同じか資格試験の音源、あるいは新しい単語集の音源
- ⑫ヵ月目 1ヵ月目と同じ

屋外のながら学習で聞き流す音源のメインは、発音テキストの発音記号に関するページです。屋内のモデルプランを見ればわかるとおり、発音を集中してトレーニングするのは7ヵ月目からですが、早めに下準備をしておくのです。下準備ですから、耳が聞き取れなくても気にする必要はありませんが、頭ではどんな英語が流れているのか認識できていると効率的です。そのために、1ヵ月目からテキストの該当ページを流し読みしておきます。

発音テキストの音源だけを半年から1年くらい聞き流していてもかまわないのですが、資格試験を目指しているのであれば、飽きないように交互に聞いてもいいでしょう。9ヵ月目に入って、屋内で単語集などを新しく学習している場合は、その単語集の音源でもかまいません。

常に音源を再生して耳に流しておき、疲れているときは本当に流しているだけ、余裕があれば意識を集中し、さらに余裕があれば声に出してみる、といった具合に柔軟に取り組んでください。

屋内と屋外でキッチリと学習すれば、これだけで英検2級から準1級、TOEIC 700 前後には到達します。期間は、あくまで目安なので、急ぐ人は短期集中して半年ぐらいに短縮することが可能です。